

2017年7月3日
ミュンヘン

シーメンスとFCバイエルン・ミュンヘン、 グローバル・パートナーシップを締結

- 国際的にもトップレベルの2ブランドのさらなる連携強化
- シーメンスはFCバイエルンバスケットボールチームのプレミアムパートナーにも
- 2017/2018シーズン初めからの3年間契約

シーメンスは、新シーズンよりFCバイエルン・ミュンヘンのサッカーチーム及びバスケットボールチームの公式“パフォーマンスパートナー”となります。パートナーシップの期間は2017年7月1日から2020年6月30日までの3年間の予定です。FCバイエルン・ミュンヘンのアリアンツ・アリーナ(Allianz Arena)とアウディ・ドーム(Audi Dome)には、すでにシーメンスの幅広いソリューションが納入されています。新シーズンの始まりにあたり、両者はさらに具体的かつ将来的なソリューション、技術やデジタル製品についてともに協力していきます。その成果はFCバイエルン・ミュンヘンとそのファンにとって、感動と興奮のスポーツシーンとして記憶に残ることにもなるでしょう。計画では、アリアンツ・アリーナの内部及び周辺、またミュンヘン市内にあるFCバイエルン・ミュンヘンのオフィスやトレーニング施設において、シーメンス製品やシステムの割合を増やしていきます。特に、エネルギー関連やビルテクノロジー、安全・危機管理技術、スマートモビリティ、公共交通手段、そして交通管理システムなど、多岐にわたるソフトウェアやクラウドサービスが、今回のパートナーシップにおいて主要な役割を担うこととなります。

シーメンス AG 社長兼 CEO のジョー・ケーザーは以下のように述べています。「現代的で高いパフォーマンスが求められるスポーツには、高い技術水準が求められます。私たちのデジタル化技術と専門知識は、FCバイエルン・ミュンヘンが国内外でさらなる成功を収めるのに貢献するでしょう。シーメンスとFCバイエルンのチームはパフォーマンスとクオリティへの情熱を分かち合います。FCバイエルンでは、アスリートの優秀さがすべてです。シーメンスでは、エンジニアリングの卓越性がすべてなのです」。

シーメンス株式会社

東京都品川区大崎 1-11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー
Reference number: PR20170706 COEN.jp

「バイエルン州を代表する2者が、これからともに力を合わせていくこととなります。シーメンスがバイエルン・ミュンヘンの仲間になることを心から歓迎するとともに、同社の熱意と誠意に感謝します。私たちはこのパートナーシップをとっても重要なものと考えていますし、まさに待ち望んでいたものでもあります」と、FCバイエルン・ミュンヘンのカール・ハインツ・ルンメニゲ会長は述べています。

シーメンスは、FCバイエルン・ミュンヘンとそのファンのために、これまで培ってきた電化、自動化、デジタル化における専門性とイノベーションの力を最大限に発揮していきます。人、技術、デジタルサービスの最適な融合を通して、ビルオートメーション、防火、セキュリティ面における真の付加価値を提供していきます。チームスタジアムでの経験は、すべてのファンにとって理想的なものとなることでしょう。

シーメンス AG 取締役で CTO (最高技術責任者) のローランド・ブッシュは次のように述べています。「FCバイエルン・ミュンヘンとの協業は、アスリート、ファン、そして周辺住民が日常的に利用し、それによって世界中のすべての人が活気づく、私たちにとって真の『Ingenuity for life』を、そして我々の技術を体現する場となるでしょう」。

また、FCバイエルン・ミュンヘンの監査役会長のウリ・ヘーネスは、「シーメンスと FCバイエルンは、ともにグローバルプレイヤーです。そのため、今私たちが開始しようとしている協業は、必然的で魅力的な一歩です。さらに、この協業に有望なバスケットボール選手も含まれることは、2つの強力なブランドがパートナーシップを結ぶにあたり、シーメンスがいかに信頼を寄せてくれているかという証でもあります。実現にこぎつけてくれたシーメンスの皆さんに感謝します」と、述べています。

シーメンスは、ファクトリーオートメーションのデジタル化、シミュレーションソフトウェアのマーケットリーダーとして、複数のスポーツ用品メーカーとも協業しています。スポーツ用品のカスタマイズ製造の過程では、これまで以上に柔軟な調整が求められているため、より早く、より透明性高く、そして、より細かく顧客の要望に対応した製品を作ることを目標にしています。デジタル技術は、クラブが抱える現在、そして将来の課題を長期にわたって解決することにより、ファンの体験にプラスをもたらす鍵となり、ひいては、クラブの成功にもつながります。

Siemens AG より独立経営となった Siemens Healthineers も 2017 年 7 月 1 日より 3 年間、FC バイエレン・ミュンヘンの公式パートナーとなり、同チームのヘルスケアテクノロジーパートナーとなります。Siemens Healthineers は、同クラブのトレーニング施設とアリーナ・アリーナに最先端のヘルスケアソリューションを導入し、予防的検査から激しい怪我に至るまで、選手の日常的な健康維持はもちろん、病気や怪我からの回復をサポートします。FC バイエレン・ミュンヘンの選手を検査するための画像システムは Siemens Healthineers が供給します。

本プレスリリースの原文は以下でもご覧いただけます(英語):

www.siemens.com/press/PR2017070336COEN

【参考資料】

本資料はシーメンス AG(ドイツ・ミュンヘン)が 2017 年 7 月 3 日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳したものです。本資料の正式言語はドイツ語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。

報道機関からのお問い合わせ先:

シーメンス株式会社

コミュニケーション部 中川

TEL: 03-3493-5022

E-mail: rie.nakagawa@siemens.com

■ シーメンス AG について

シーメンス AG(本社:ベルリンおよびミュンヘン)は、165 年以上にわたり、卓越したエンジニアリング、イノベーション、品質と信頼性、そして国際性を象徴するグローバル企業でありつづけています。電化、自動化、デジタル化の分野を中心に、世界 200 カ国以上で事業を展開しています。シーメンスはエネルギー効率に優れた省資源技術を世界で最も多く提供している企業のひとつであり、洋上風力発電の建造においては世界一、コンバインドサイクル発電ではタービンの主要サプライヤー、送電ソリューションでは大手プロバイダー、そしてインフラストラクチャー・ソリューションならびに産業向け自動化ソリューションとソフトウェア・ソリューションのバイオニアです。さらにシーメンスは、コンピュータ断層撮影装置(CT)や磁気共鳴画像診断装置(MR)などの医用画像診断装置の大手サプライヤーでもあり、臨床検査および医療情報 IT のリーダーでもあります。2016 年 9 月末に終了した 2016 年度において、継続事業の売上高は 796 億ユーロ、純利益は 56 億ユーロでした。2016 年 9 月末時点の全世界の社員数は 35 万 1,000 人です。詳しい情報は、www.siemens.com にてご覧いただけます。

このリリースには、過去の出来事ではなく、将来の業績に関する見通しや情報が含まれています。「期待する」、「予想する」、「意図する」、「計画する」、「信じる」、「模索する」、「推定する」、「予定する」といった言葉やその類義語は、将来の業績に関する見通しに該当する可能性があります。こうした見通しは、当社の現時点での予測と一定の前提に基づいており、したがって、特定のリスクや不確実な要素に左右されることがあります。シーメンスの事業活動、事業戦略、業績に影響を及ぼす要素はさまざま、その多くはシーメンスには制御不可能なものです。そのため、シーメンスグループの実際の業績、活動、成果は、こうした将来の業績に関する見通しの記述や暗示とは大きく異なる可能性があります。特定の不確実な要素には、景気や取引状況の変化、為替動向や金利の変化、他社による競合製品・技術の導入、シーメンスグループの新しい製品・サービスの不振、事業戦略の変化やその他のさまざまな要素の変化などが含まれます。万一、これらのリスクや不確実な要素が現実のものになれば、実際の業績は将来の業績の見通しの予想、確信、予測、期待、意図、計画、予測とは大きく異なる可能性があります。シーメンスは、将来の業績に関する見通しの作成後に発生する出来事に照らして見通しを更新、修正する意図はなく、またそうした義務を負うものではありません。